

野原の文殊寺

日本三体文殊



本堂

一条天皇(九八〇年〜一〇一一年)頃に都から移されたそうす。文殊寺は関東地方の平和を願って建立され、その後鎌倉時代に再興され大きな伽藍を持つお寺だと伝えられています。



熊谷市指定有形文化財 仁王門

立正大学の隣にある、日本三体文殊の文殊寺。(熊谷市野原623) 日本三体文殊とは隋から渡来し、聖徳太子が筑紫から都へ迎えたこと伝えられている京都天橋立の切戸の文殊、山形米沢の亀岡の文殊、そしてこの武州野原の文殊の三体の文殊師利大菩薩のことです。



ご説明下さった38世ご住職、関口秀典師

不幸にもたびたび火災にあり、文政十一年(一八二八年)には仁王門以外の七堂伽藍が焼失し、当時の様子を伝えるものは仁王門と本尊だけとなってしまいました。現在の本堂は昭和十一年に焼失した後道の反対側にあつたお堂を移築したものだそうす。この文殊菩薩は他とは違い正面を向いた獅子の上に座っておられるそうす。



入山式が昨年10月25、26日行われました

(一般的な文殊菩薩は獅子の体が横を向き顔だけが正面を向きその上に菩薩が座っている) 文殊様がすわっている獅子の後ろ足の一本が欠けていると言われていますが昔々、文殊様が村人たちを教え導くためにお寺から出られるときに獅子も後をついて出て作物を食べ散らかしたり、いたずらをしたりして、村人たちを困らせたのでお寺の和尚さまが後ろの片方の足を切り落としたの言い伝えがあるそうす。また、野原の地区にお嫁に来た方が御縁日にお参りすると男の子が授かるという言い伝えもあつたそうす。

大幡中学校ふれあい講演会

演題 NPO法人 くまがや小麦の会の活動について
講師 日向美津江(NPO法人くまがや小麦の会会長、株式会社平松代表取締役会長、熊谷商工会議所女性会会長)

平成二十四年十一月一日NPO法人 くまがや小麦の会会長 日向美津江様をお迎えし生徒三〇〇名、職員二十五名、保護者約二十名を対象に中学時代に考えていたことや、その後の進路選択、女性の経営者としてのもの見方、等の講演をして頂きました。中学生が各自の進路を選択するにあたり、目先のことにとられず、将来を見据えた進路選択をすること、自分だけでなく周囲に気を配った考え方が大切であることを学ぶことができた。

ふれあい講演会の目的

生徒の将来の夢や希望を育み、進路意識の啓発・高揚を図るために、地域のみなさまとの連携による講演会をとおして、生徒・保護者の意識を啓発し、中学校の進路指導・キャリア教育の推進を図る。

講師感想

小麦の会が所在する地元中学校から、講演のお話を頂戴して、暫し遙か彼方になった我が中学時代を思い起こした。群馬県東町中学校に通っていた。現在は伊勢崎市に合併され旧校は無い。困窮の世代であり、五〇人の学級編成で7クラスあった。親は忙しな中、一生懸命働きながら子供を育てる姿を感じさせてくれた時代であった。過ぎ去って見えてくる事が沢山ある。中学時代に生還して一番大切な時と言った方がいいに思える。気づいて生活して来たのだろうか。取もく頑張り続けたような記憶はある。お目にかかると大幡中学校の生徒さんに、中学校の頑張りが礎になる事を伝えたい。大幡中学校時代は努力が不足している事に気づき、充分取り返せる時期でもある。会場の体育館に三五〇名もの多くの方にお集まり頂き、講演後、生徒会長さんから花束を贈って頂き、我が中学時代とオーバーラップして感激でした。可能性の塊のようなみなさん、どうぞ、自分の力を信じ、やるべき事をやって、広い世界に踏み出して下さい。

中学生キャリア体験

於：(株)平松研究室
毎年夏休み期間中に「中学生キャリア体験」が企業に1週間中学生が通い実際の業務に参加する昨年の夏は大幡中学校の男子生徒2名が小麦の会に応募してくれた。感心した事に、小麦の会の製品が販売されている直売所で製品を買ひ、事前にどの様な製品なのか調べてきていた事だ。受け入れ側の小麦の会製造部も嬉しい緊張感で対応した。パウンドケーキの焼成、包装を実施体験して頂いた。その後暫くして、大宮アルディージャが熊谷でリーグ戦を行った時、小麦の会が販売に出店していた。「こんにちは!」と出店の店先に実習した、大幡中学校の生徒さんが来てくれた。嬉しい出来事だった。



生徒の感想より(抜粋)

・高校を選ぶ際に、自分は何をしたのか、そのためには何が必要かを考えさせられました。多くの事業を成し遂げた日向さんの人生はとても充実していたと思います。事業を成すにあたって、ニーズはどうか、ライバル会社の動向は、などの考えや判断、そして選択が必要で、その部分をしっかりとできるように、ということを教えていただきました。

・日向さんの話を聞いて、この中学の時間はとても大事な時間であること、できることをやる、勉強すること、一杯やるという言葉、大人になっても覚えておきたいと思いました。

・熊谷で作った地粉でサブレを作っているところを見て、そちらのお金をボランティア活動に使うというアイデアがすばらしいと思いました。

・中学生でやっておくことをしっかりやる、全ての事を一生懸命やれば大人になっても役に立つということなど、大切なことをたくさん教えていただきました。これからもそのことを意識してがんばりたいです。



映像を交えて講演する日向会長

☆会員・賛助会員だより

【慈げん】『食べログ ベストスイーツ2012』『埼玉県第4位に選定!!』

地粉うどん・フライ、天然のがき水が一年中食べられる当会賛助会員の慈げんさんが38万人のレビューに選ばれた至高の名店として賞が贈られました。改めて「慈げんさんの製品にける拘りは半端じゃないな」と全国区認定ハンズ!

熊谷市仲町45 TEL:048-526-1719
休み:水曜日

2月25日大縁日 文殊菩薩御開帳

智恵の文殊と言われるように諸願成就の祈願の方が毎年年末ごろから増えるとのこと。少し前までは高校入試の前に各中学の受験生の数だけお札もつてまわられたとか。学校から文殊様のお札を頂いた経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか? また、卯歳の守り本尊でもあります。例年二月二十五日の大縁日には文殊菩薩の御開帳が行われ大変なにぎわいを見ることが出来ます。今年、出掛けみてはいかがですか? (H・K)

立正幼稚園

入園に関するご質問、子育てに関するご相談をお待ちしております。お電話でもお受けしております。

理事長 及川周介
園長 馬橋 旭

学校法人熊谷立正学園立正大学系列立正幼稚園
〒360-0164 埼玉県熊谷市橋井1748-2
Tel:048-536-1688
Fax:048-536-2168
E-mail:yochien@rissho.ed.jp
URL:http://www.risshoed.jp/

株式会社 平松

代表取締役 日向研一郎

歴史が育む無限の可能性...地域密着・食品卸売業

We are HIRAMATSU

〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL:048-521-0026

●ビッグヘアショッピングモール (埼玉県熊谷市1067)
●西友・イトーヨーカドー・スーパーセンター・ブルーレーン・カフェ・大塚
●平松運輸株式会社 (埼玉県熊谷市中奈良1797-1)

株式会社 オキナヤ

http://www.okinaya.co.jp/

「最大の誠意、最大の努力、最大の協同」
「優れた製品とサービスを提供し、お客様と社会に貢献する」
「SOLUTION & SERVICE THE NEXT OKINAYA」

産業・建設関連のエンジニアリング商社

資源を大切に「もったいない」でリサイクル

時代はリサイクル

埼玉県「木くず」と「がれき類」のリサイクル会社

亀井産業株式会社

http://www.kameisangyo.co.jp
埼玉県熊谷市三ヶ房4236
Tel:048-532-3391 Fax:048-532-5235

税理士法人 武蔵経営

所長 龍前篤司

私たち税理士法人武蔵経営は、社員ひとりひとりが専門家です。わたしは、「中小企業経営者のサポート」の専門家です。わたしは、「資産経営者のサポート」の専門家です。

熊谷事務所
〒360-0013 埼玉県熊谷市中西2-7-31
電話 048-522-0064

さいたま事務所
〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-24-2 金杉町ビル3F
電話 048-631-2271

お気軽にご相談下さい。

http://www.musashikeiei.com/

取扱紙 読売新聞、報知新聞、コドモ新聞、埼玉新聞

お申込み・お問い合わせは

電話受付:9:00~19:00
FAX受付:24時間受付致します。

YC 熊谷東部

埼玉県熊谷市筑波1-38

TEL 048-521-3363
FAX 048-521-3616

little ripple

庭とともに、暮らそう。

毎月20講座以上♪
カルチャースクール開催中

ガーデン×雑貨のお店
little ripple

リトルリプル 熊谷箱田通り店
tel:048-501-8770

BM SIGHT-SEEING

ビーエム観光バス

ピーエム観光バス株式会社では、おかげさまで昭和62年創業から24年目を迎える事ができました。

素敵なたびのお手伝い

若い人からおとしよりまで、バス旅行の安全快適な楽しさをお届けします。

観光バスのご利用は
(TEL)048-532-3527
(夜間)048-532-1585

立正幼稚園にソーラーパネル設置 太陽光募金にご協力をお願い致します。

東日本大震災の支援活動を気仙沼に、会員の教え子が嫁いでいる事から、気仙沼小学校に向けて行って参りました。この災害は原子力発電の日本の取り組み方、原発に替わる再生エネルギー問題に行き着きます。「暑い、熊谷」日照時間の長さで国内2位の太陽光エネルギーを使用するには、好条件にあります。当会は立正幼稚園父母の会のOGが会員に多く加入して頂いております。太陽光エネルギーの活用を「埼玉県補助金制度」「市民共同太陽光発電事業」に連動する形で立正幼稚園に設置活動を行って行きたいと考えました。公的施設で太陽光発電の学習が出来る子供たちが暮らす「立正幼稚園」に4.8kwの太陽光発電装置を設置に向けて資金募集のご協力をお願い申し上げます。

主催者：NPO法人くまがや小麦の会

皆様のあたたかいご寄付をお待ちしております。

NPO法人くまがや小麦の会事務局行き (担当：日向) 立正幼稚園にソーラーパネル設置太陽光募金を申し込みます。

【寄付お申込数】 1口 2000円 () () 円

【寄付納入方法】

①NPO法人くまがや小麦の会へ持参 (担当：日向)
②立正幼稚園へ持参 (担当：高橋)
③熊谷商工信用組合 本店 振込手数料振込人負担
④ゆうちょ銀行 熊谷支店 振込手数料受取人負担 (後日払込用紙をお送りいたします。)

【お申込者】

御氏名 _____
御企業名 _____
ご住所 _____
電話 _____ FAX _____

お申込書

①~④の番号を記入して下さい

お申込FAXは 048-521-7900